

令和7年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会

令和7年7月3日（木）、地域学校協働活動及び学校運営協議会関係者や社会教育関係者、教職員等を対象に、令和7年度丹後「地域学校協働活動」推進研修会を開催しました。

今年度は与謝野町高校魅力化コーディネーター 丹後「子育て」サポート協議会委員 稲本 朱珠 様に講演とワークショップをお世話になり、子どもの思いを真ん中に置く「対話」を軸とした研修を行いました。

講演では、子どもの主体性が育つ環境づくりのための「対話」という視点をもとに、子どもと関わる大人の在り方について学ぶ機会となりました。またワークショップでは、多様な立場や地域での意見交流が設定され、参加者同士によって学校と地域の連携・協働に関わる当事者意識が高まる「対話」が展開されました。参加者の感想からは、子どもの思いに寄り添い、「対話」を重ねることで丹後の地域学校協働活動を一步前に進めようとする意欲が伝わってきました。

この研修会を機に、「対話」を通して、地域と学校の目指す子ども・地域の姿が共有され、将来の地域の担い手である子どもたちを心豊かで健やかに育む環境づくりが管内にさらに広がっていくことを期待します。

《感想》

- ・しゃべることで思いに近づけると思った。対話を通した人と人とのつながりが、大切だと思った。
- ・デジタル社会に生きる子ども達にとって、「楽しそう」「おもしろそう」と思える取組・事業が不可欠であると思う。発想を転換し、新たなチャレンジを試みていきたいと思った。
- ・「子どもを真ん中に置いて」や「どんな大人に育ってほしいか」という視点や方向性は、学校も地域も同じであることが確認できた。大切なことは、それぞれの立場を尊重し、理解し合いながら、お互いが何を求めているのかを共有する機会を作ることにあると思う。

